

DOES TOURISM KNOCKS OUT POVERTY?

渡邊ゼミ

なつやすみマサイ調査

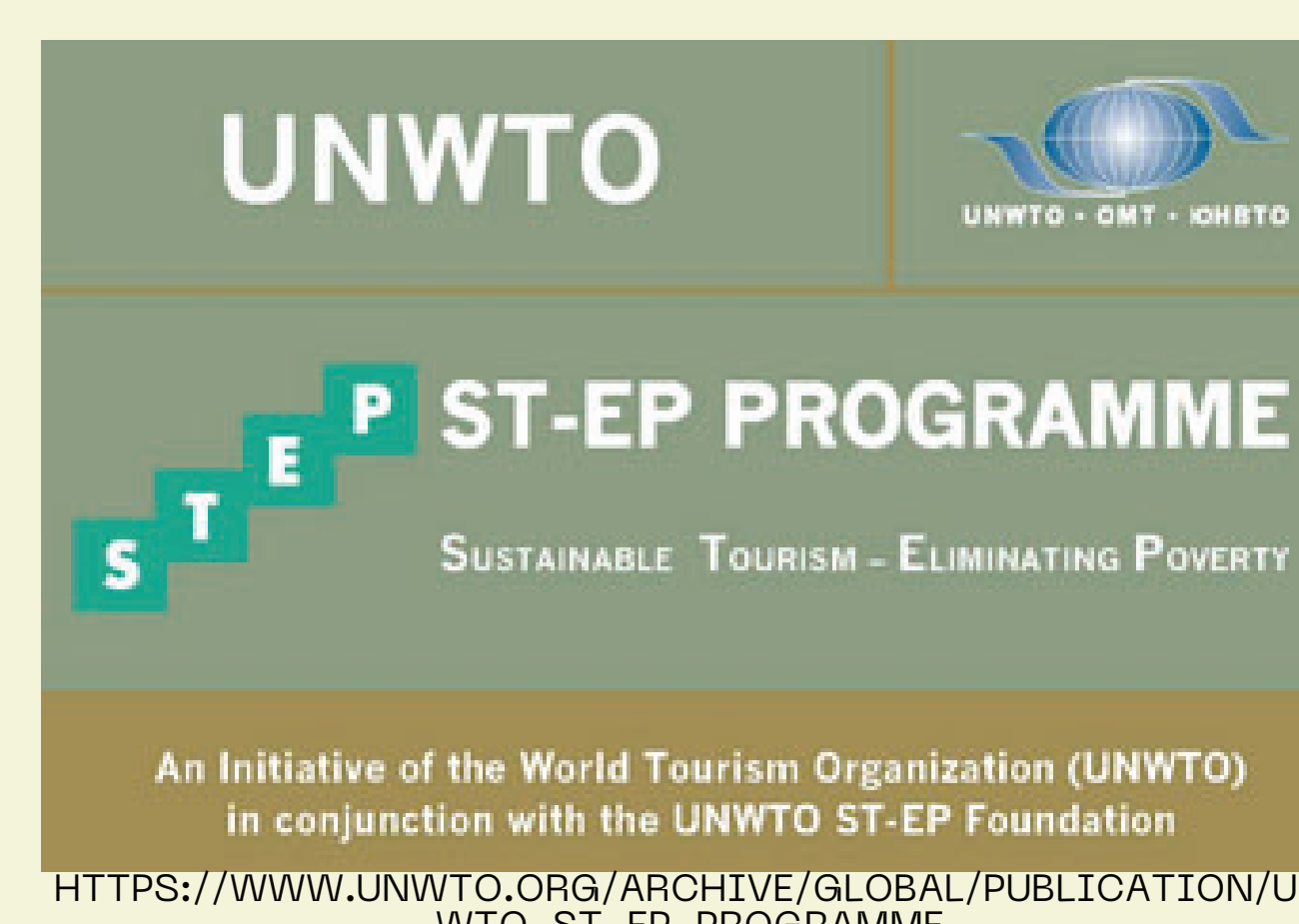
HOP ST-EP



ST-EPとは=「持続可能な観光業による貧困の撲滅」

ODAを受けながら、2010年までに34か国で100のプロジェクトが実施。
UNWTOによれば、ST-EPは7つの要素によって構成されている。

1. 貧困層の雇用
2. 観光業に必要なサービス、ノウハウの提供
3. 現地で観光客へサービスの提供、お土産販売（非課税）
4. 小規模コミュニティでの観光企業創業・運営（課税）
5. 関税などによる収益を分配
6. 観光企業や観光客への無償サポート
7. 観光企業の出資により、貧困層に利益を与えるよう他業種を援助する



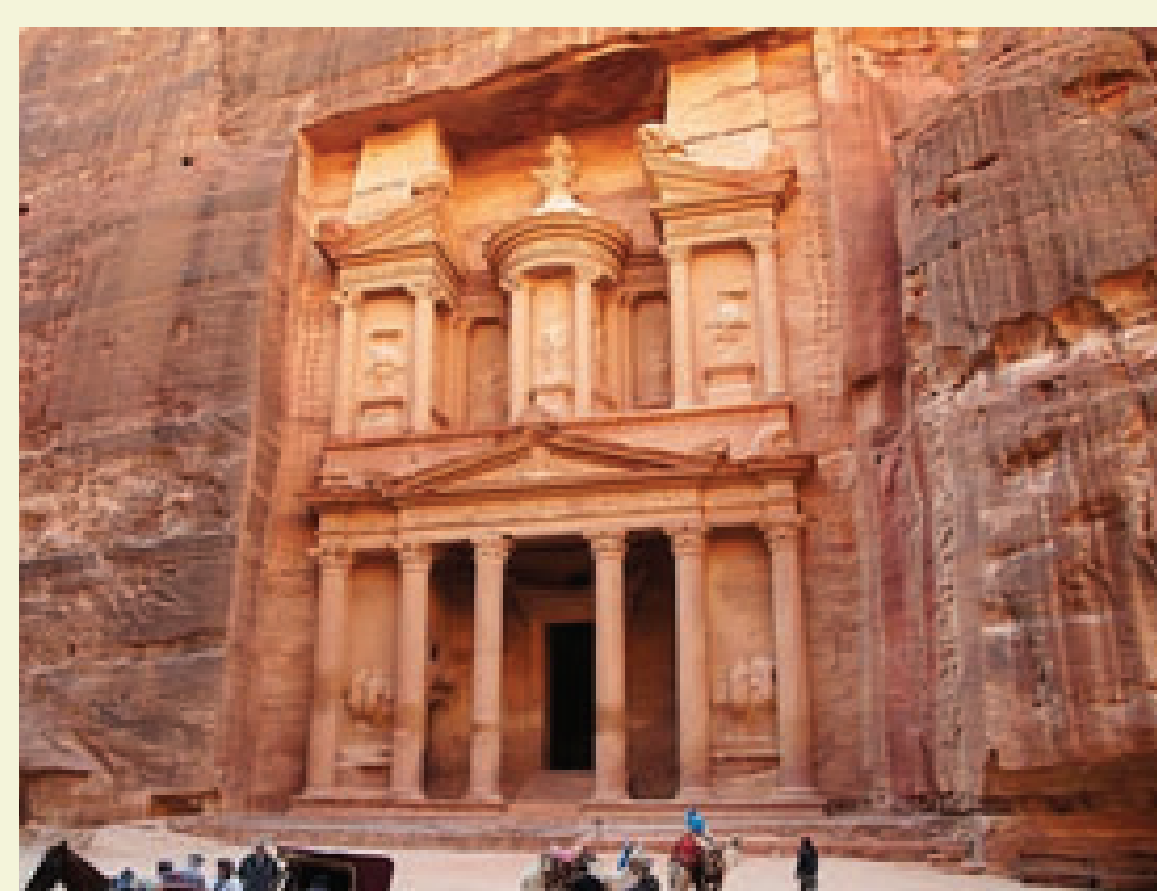
EX1: JORDAN

ヨルダンってどんな国！

- ・地中海の東側に位置する国（中東）
- ・歴史的な文化遺産が豊富で、死海などの自然景観
- ・観光産業は、ヨルダンのGDPの12.4%を占めている
- ・一方「アラブの春」の影響を受け、観光客数は減少

こんなプロジェクトがされた！

- ・サルト歴史博物館を観光の拠点とし、地域住民に利益をもたらす持続可能な観光開発を進める！
- ・EX)歴史的都市景観の保全、観光システムの構築、観光商品の開発



<https://atsulae.com/luxury-travel/jordan/>

プロジェクトを通じて

<影響>

プロジェクト目標と活動成果はほとんど達成！

観光客の増加＋地域経済の活性化
観光資源としての価値の高まり

<課題>

観光開発に向けて公共・民間における設備投資に多大な費用と時間が...
景観特別規制との整合性をとりつつ独自のマネジメントシステムを構築し、景観保全・形成を誘導する必要性

EX2: TANZANIA

ビジネスマサイ

”ビジネスマサイ”とは、観光客に対して伝統的な暮らしを演じ収入を得るマサイ族のこと

観光開発

- ・タンザニアは自然豊かな土地とさまざまな動物が生息するためサファリツアーが観光業の主な収入源
- ・ツアーによりガイドなどの雇用が生まれ、工芸品の販売やキャンプでの宿泊で収入を得ている

真実1：ビジネスマサイは仕方ない！？

保護地区は政府管轄のため農作禁止
生きるための手段

真実2：マサイ族の迫害！？

政府はンゴロンゴロ保全地域の保護という名目で2022年に始まった政府プログラムの一環として、2027年までに8万2000人以上の住民を600km離れたムソメラ村に移住
しかし...タンザニア政府が住民の同意を得ず、強制的に移住させる場合も多かった



NEXT GROUND: BOLIVIA

1. ボリビア基本データ

- ・中南米に位置する国で、国土は日本の約3倍
- ・国民の60%が貧困層に属する南米で最も貧しい国の1つ
- ・貧富の差が激しく、先住民らが暮らす農村部では貧困率は70%に達する
- ・インフラ整備が世界と比べ遅れている（高地が多く難しい）

2 ウユニ塩湖の課題

- ・ゴミ処理能力の低さによるゴミ問題
- ・インフラ不足で、観光客に対し慢性的なトイレ不足
- ・ウユニ塩湖の汚染

観光車両に着いた土による塩湖の汚染
観光客が捨てるプラスチックゴミ
オーバーツーリズムによる環境汚染

3. ウユニ塩湖における開発プロジェクト

- JICAによるインフラ整備促進プロジェクト
- ・インフラ整備を進めるための委員会設置
- ・能力強化研修
- ・県・市の職員への研修の実施

○ECO-TOMODACHI プロジェクト

- ・廃棄物管理や衛生環境改善、環境教育の促進
- ・地域住民と有機物のコンポストなどを行う
- ・観光地のごみ処理やトイレ状況改善にも取り組む

オーバーツーリズムによる環境汚染の根本的な改善は出ていない。インフラ整備や環境客制限の必要性？



https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/shiryo/hakusyo/21_hakusho/column/column05.html

CONCLUSION

ヨルダン

- ・地域住民に利益をもたらす持続可能な観光開発を進める
目標は達成しているものの、景観保全などに課題がある
タンザニア
- ・独自の伝統を活かした観光開発
強制移住の問題
ボリビア
- ・天然資源/自然資源は豊富→観光開発の可能性
開発による環境汚染の問題

★観光開発で救える部分もあるが、同時に新たな課題も生まれる

REFERENCES

- ・World Travel & Tourism Council "Tanzania's Travel & Tourism Reached Record Breaking Levels in 2023" (<https://wtcc.org/news-article/tanzanias-travel-and-tourism-reached-record-breaking-levels-in-2023>)
- ・Infobae 「タンザニアのマサイ族がンゴロンゴロ保護区からの追放をめぐって分裂」 (<https://www.infobae.com/jp/2022/03/18/tanzanian-maasai-divided-over-expulsion-from-ngorongoro-reserve/>)
- ・ヨルダン・ハシェミット王国サルト市における持続可能な観光開発プロジェクト
詳細計画策定調査報告書 (<https://openjicareport.jica.go.jp/pdf/12082756.pdf>)
- ・ヨルダン・ハシェミット王国サルト市における持続可能な観光開発プロジェクト
事業完了報告書(<https://openjicareport.jica.go.jp/pdf/12266292.pdf>)
- ・外務省「日本の技術や知見を活かしボリビアの環境改善に取り組む！～JICA帰国研修員が結成したECO-TOMODACHIの活躍～」 (https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/shiryo/hakusyo/21_hakusho/column/column05.html)
- ・国際協力機構ボリビア事務所「事業事前評価表」 (https://www2.jica.go.jp/ja/evaluation/pdf/2015_1400412_1_s.pdf)